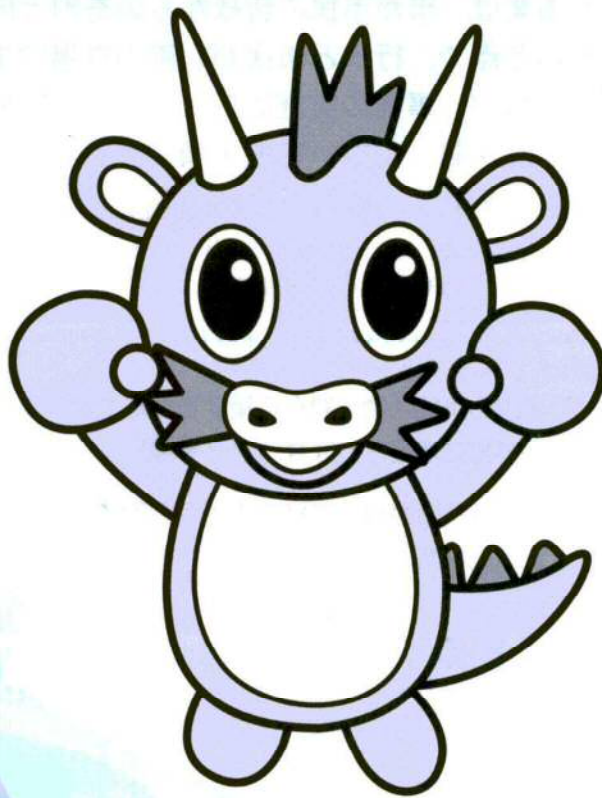




さいたま **NEWS** ニュース マッピングファンド

平成26年度事業報告

vol.6



目次

- さいたまマッピングファンド制度とは？…………… 2
- 一般助成事業…………… 3～5
- 団体希望助成事業…………… 6～7
- マッピングファンドへの寄附について…………… 8

さいたま市市民協働推進課



さいたまマッチングファンド制度とは？

さいたま市市民活動及び協働の推進基金（愛称：さいたまマッチングファンド）とは、市民の皆さんが市民活動に寄附をすることで、市民活動への参加や応援をできる基金です。

地域社会の課題を解決するために、市民活動団体と市が協働して事業を行う場合に、この基金から助成を行います。

マッチングファンド事業で助成する市民活動は、市民の皆さんが自主的に地域の課題解決に向けて、市と協働で取り組む、活力あるまちづくりに貢献する事業を対象としています。

また、マッチングファンド事業は、市が市民の皆様からの寄附と同額の資源を出して積み立てた財源の中から補助するという点で、行政と市民が対等の立場でまちづくりを進めることができるのが特徴です。なお、申請する事業の実施にあたっては、市民の皆さんが無償で事業に参加する労力（ボランティア活動時間）についても金額に換算して助成する等、新しい仕組みを取り入れた補助制度になっています。



寄附の種類

一般寄附 さいたま市の市民活動全般を応援する寄附です。
一般助成事業に活用されます（P 3参照）。

団体希望寄附 あらかじめ基金に登録している市民活動団体を希望して応援する寄附です。
団体希望助成事業に活用されます（P 6参照）。

マッチングファンドのイメージ



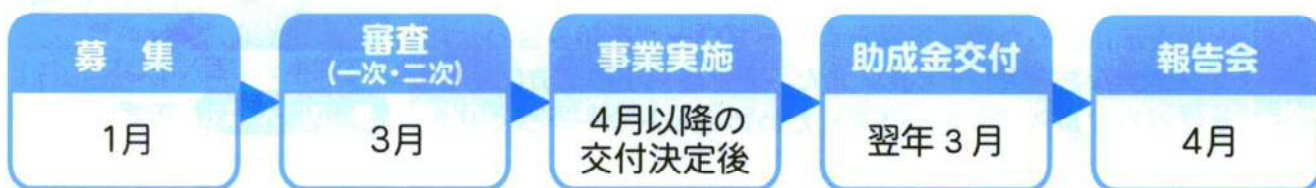


一般助成事業

一般助成事業とは、市民活動団体が市と協働し、地域課題の解決のために行う事業に対する助成金制度です。対象となる事業は、事業の目的が一つの区の区域を越えて行う、非営利で公益的な活力のあるまちづくりに貢献する事業です。

毎年1月頃に事業を募集し、さいたま市市民活動推進委員会での審査を経て、市民からの寄附金・無償の労力・市民活動団体の自己資金に見合った金額を助成します。

事業の流れ



事業実績

平成26年度は3事業を実施しました。詳しくは、4～5ページをご覧ください。

平成27年度は5事業を実施する予定です。(平成27年9月末現在)

●オープンデータで豊かな社会を

【Code for SAITAMA & ICT 政策課】

市民レベルでのオープンデータ活用を促進するため、アイデアソン、ハッカソン、講習会、まち歩きイベントの開催、市内外から専門家・講師派遣など市民目線のイベントにより、オープンデータが市民権を得て、社会貢献をもたらす道筋を作るための支援を行う事業です。

●女性の知恵で読み取る／発信する講座

「さいたま 地域力×女性カブック(仮)」をつくろう!

【一般社団法人さいたまキャリア教育センター&男女共同参画課(男女共同参画推進センター)】

さいたま市で男女共同参画に関する情報紙などの作成にかかわる人材(女性)を市民から発掘・育成する事業です。

●「地域資源である氷川参道及び周辺地域を利用した 市民参加の地域プロデュース事業」さんきゅう参道プロジェクト

【I love SAITAMA ぶろでゆーす&市民協働推進課】

さんきゅう参道プロジェクトは、氷川参道を舞台とした市民マーケットであり、市民による地域プロデュースである「さんきゅう参道2016」を行うことで市民参加型社会を目指した事業です。

●地域の助け合い拠点コミュニティ・カフェと連携した

ICT (Information and Communication Technology) の活用による助け合いまちづくりの検証

【コミュニティ・カフェ おひさま&南区コミュニティ課】

第1段階として、南浦和地域(南区)で11年間、地域の助け合い拠点として活動してきたコミュニティ・カフェを中心に、そのスタッフ、利用者、2つの近隣老人会を対象にタブレット端末導入の可能性とその効果(助け合い、介護予防、生活利便、生活豊かさ、世代間交流等に役立つか)について検証し、その結果を発表・報告し、他地区での広域的な普及促進の可能性を検証する事業です。

●丹過・長谷川見世蔵の保全利活用に関わる可能性検討事業

岩槻の文化を学び・楽しみ・繋ごう

【特定非営利活動法人都市づくりNPOさいたま&岩槻区コミュニティ課】

建物を育ててきた地域の歴史を伝えるとともに、文化を引き継ぐ拠点として保全し、ふさわしく活用していくことを目的に、市民が行政と協働して可能性の検討を行う事業です。



平成26年度

マッチングファンド一般助成事業実施報告

【一般社団法人さいたまキャリア教育センター&男女共同参画課(男女共同参画推進センター)】



女性の知恵で社会を幸せにする講座 「くさいままで人とつながる」しくみを考えよう!



さいたま市の女性の知恵を、社会を幸せにするための提案という形にするため、講義とグループワークを組み合わせたプログラムを提供しました。また、参加者同士の交流により、女性が地域から「声を上げる」ためのネットワークづくりを促進しました。

参加人数 75名

助成金交付額 464,899円

団体担当者からの声

今回、マッチングファンドを活用させていただき、たいへんありがたかったです。不慣れな点がいろいろありましたが、市民活動支援室(当時)の助言を得て、私たちのような駆け出しの団体でも完了することができました。応募事業が少ないと聞いていますが、活用の仕組みが一般に見えるように提示されれば、やってみたい団体はあると思います。仕組みの周知と、応募のハードルを下げるような工夫を期待しています。マッチングファンド活用への理解と、さいたま市で社会参加することへの肯定的な認識を関連付けつつ発信していったら、良い効果があるのではないのでしょうか。

【NPO法人子育て応援クラブむくむく&地域医療課】



上手なお医者さんの かかり方事業



救急医療の需要が増大するなか、専門的知識を持つ講師による講座を開催し、適切な医療知識や情報を提供しました。基礎的な医療知識や情報を知り、考えることで救急医療への不要な受診を減らし、またその意識を醸成することを目的としました。

参加人数 35名

助成金交付額 95,391円

団体担当者からの声

平成26年度さいたま市と協働事業を実施させて頂き、とても感謝しています。貴重な機会をありがとうございました。市と民間団体が協働で事業を行うシステムは、市民の目線に立ったサービスが提供できるためとてもいい事だと思います。実生活の中から様々な問題を感じ自ら取り組んでいる団体がたくさん存在すると思います。そういった団体と協働で事業を行う事がもっと活性化するといいなと期待しています。



「プロボノ活動推進」 プロジェクト



「地域貢献的な活動に関心のある現役世代の特技、経験を活かしたボランティア＝プロボノ活動」と市民活動団体をつなぐことを目的に実施しました。プロボノとして団体のサポートを円滑に行えるよう研修したり、相談・支援のコーディネートを行ったり、PR活動を行いました。

参加人数 83名

助成金交付額 339,531円

団体担当者からの声

プロボノ活動を単独ですすめるより、「市のマッチングファンド事業の協働事業として」と説明すると納得を得られる事もあり、最初に協働事業として取り組み始めた意義があった。普段は都内や企業、行政の立場として働いている人も切り取った時間を地域で活用できる取り組みなので、継続して実施していきたい。



協働の相談窓口

「協働のテーブル」をご利用ください。

市民活動団体と市が協働によりまちづくりを進めていくため、市民協働推進課と市民活動サポートセンターが協働の相談窓口として「協働のテーブル」を運営し、課題解決の方策等をコーディネートします。

協働のテーブルでは、さいたま市内における地域課題の解決に関する提案を受け付けています。ここでの「協働」は、「市及び市民活動団体が、地域又は社会における共通の目的の実現及び共通の課題の解決に向けて、対等な立場で連携を図りながら協力して事業を行うこと」（さいたま市市民活動及び協働の推進条例より）です。

よくある質問

- Q** 必ず市の担当部署と協働できるのですか？
- A** 市民活動団体が単独で実施したい事業ではなく、市との協働による事業が対象です。提案の内容が協働になじまない場合には、ご希望に沿えないことがあります。
- Q** 提案する内容について、何か制約がありますか？
- A** 市民活動団体の定款または会則等に定める事業に沿う内容であり、さいたま市内における協働による地域課題の解決に関する提案であれば、特に制約はありません。

募集案内などのダウンロードや詳細はさいたま市ホームページの「協働の相談窓口 協働のテーブル」のページをご覧ください。【さいたま市ホームページ URL：<http://www.city.saitama.jp/index.html>】



団体希望助成事業

団体希望助成事業とは、あらかじめ基金に登録した団体を希望して寄附をすることにより、寄附金を寄せられた基金の登録団体が、団体の活動趣旨に沿って行う事業に対する助成金制度です。対象となる事業は、事業の目的が一つの区の区域を越えて行う、非営利で公益的な活力のあるまちづくりに貢献する事業です。

登録制度の概要

- ① 団体登録の申請は随時受け付けます。さいたま市市民活動推進委員会の審査（年7回程度を予定）を経て登録を決定します。
- ② 登録の有効期間は登録決定の通知の日から3年間です。
- ③ 登録団体の支援を希望する寄附があった場合、助成金の申請は9月と3月に受け付けます。
- ④ 助成金は、さいたま市市民活動推進委員会の審査を経て、交付を決定します。寄附者の意向を尊重しますが、団体の申請どおりに決定するとは限りません。また、寄附金の一部は市民活動全般に対する助成事業に活用します。

申請用紙のダウンロードや登録の要件等詳しくは、さいたま市ホームページの「さいたま市市民活動及び協働の推進基金」のページをご覧ください。

ご寄附いただいた方のご紹介

〔一般寄附分〕

※ 申出書受付順

- 浦和商业開発 株式会社 様
- 株式会社 ムトーセーフ 浦和支店 様
- 株式会社 伊勢丹 浦和店 様
- 浦和総業 株式会社 様
- 埼玉土建一般労働組合さいたま北支部片柳分会 様
- さいたま市リサイクル女性会議浦和 様
- 中山道浦和宿・二七の市実行委員会 様
- 浦和駅東口市民広場もちつき大会実行委員会 様
- サポセンファンクラブ 様
- 天野 泰博 様
- 株式会社 丸広百貨店 様
- 匿名希望の方々

平成22年4月1日から
平成27年8月31日までに、
総額 1,727,992 円の
ご寄附をいただきました。
ご協力ありがとうございます。

〔団体寄附分〕

- 株式会社 ユアーズ・コーポレーション 様
(寄附先 ドリームアートさいたま)
- 水辺環境再生さいたま 様
(寄附先 NPO法人自然観察さいたまフレンド)
- 匿名希望の方々
(寄附先 NPO法人自然観察さいたまフレンド)
(寄附先 特定非営利活動法人岩槻まちづくり市民協議会)
(寄附先 特定非営利活動法人エコ、エコ)





登録団体紹介 (平成 27 年 9 月末現在)

特定非営利活動法人 生涯学習コーディネート協会	地域の学習者に対し、生涯学習に必要な情報提供や学習要求を満たす学習内容を提供する教育活動に関する事業を行い、全ての学習行動に寄与する事を目的としています。
特定非営利活動法人 都市づくりNPOさいたま	まちづくりに関する様々な課題に取り組むために、建築、土木、都市計画、環境、産業経済、等の専門的な立場から活動及び支援を行い、もって社会全体の利益の増進に寄与することを目的としています。
北浦和総合型 地域スポーツ・レクリエーションクラブ 「ふれあいプレイランド」	スポーツやレクリエーションを通じ、子ども、保護者、さらにシニア世代をも含めた多世代間の交流を図りながら、健康な体力づくりとともに、安全で、安心して生活できる、まちづくりに貢献します。
特定非営利活動法人 地域伝統文化推進機構	日本国民又世界に対し、日本地域文化の向上と伝統文化の伝承と推進を行い、次世代の育成に寄与することを目的としています。
NPO法人 自然観察さいたまフレンド	自然保護につながる自然観察を活動の原点として、自然環境保全や環境教育の諸活動をつうじて、みどり豊かなまちづくりの推進に寄与することを目的としています。
特定非営利活動法人 岩槻まちづくり市民協議会	岩槻区内各分野で活躍している団体、区民の知恵と経験を結集し、さまざまな提案、及び推進活動をすることにより、にぎわいと魅力あるまちづくりに寄与することを目的としています。
特定非営利活動法人 環境ネットワーク埼玉	市民、事業者、行政機関と連携して、地球温暖化防止などの環境保全活動を推進することにより、将来にわたり持続可能な循環型社会の構築に寄与することを目的としています。
リレーフォーライフ埼玉実行委員会	明日を生きる勇気と希望を与え、がん啓発による早期発見、早期治療、研究のための寄付活動等と呼び掛けています。
ITリーダーの集い	地域社会における市民向けIT知識の普及支援活動を行い、情報格差の問題を解消し、地域社会の活性化に資することを目的としています。
このまちで暮らす会	住み慣れた我が家で暮らし続けるための生活サポートシステムを生活圏ごとにつくることを目的としています。
特定非営利活動法人 エコ・エコ	自然保護活動と自然の仕組みを多くの人に理解してもらうことを目的としています。
特定非営利活動法人 さいママ	この法人は、埼玉県、さいたま市に在住の方やその家族、関係者、妊産褥婦（出産直後の方）及び孤独な妊娠出産育児の軽減につながるシステムやケアの提供を創造する事や障害を持つ方の働く場所を提供する事で地域の保健・医療又は福祉の増進に寄与する事を目的としています。



マッチングファンドへの 寄附募集中!!

さいたまマッチングファンドは、市民のみなさんが寄附を通して市民活動に参加できる仕組みです。住みよいまちづくりのために、寄附による応援をよろしく願いいたします。

寄附をする際の手続きは？

寄附の申込み方法

- 寄附申出書による寄附
- ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」からの寄附



寄附金の納付方法

- 納付書納付 ●銀行振込
- クレジットカード納付(※)
(※「ふるさとチョイス」利用時のみ選択可)

※詳しくはさいたま市ホームページ内「『ふるさと応援』寄附の手続きについて」のページをご覧ください。

税制上の優遇措置があります！

マッチングファンドへご寄附いただくと、「ふるさと応援」寄附として、税制上の優遇措置があります。

寄附者が個人の場合

所得税や個人市民税・県民税の計算上、寄附金額に応じて控除が受けられます。

寄附者が法人の場合

法人税額の算定上、全額損金算入できます。

<ワンストップ特例制度が創設されました>

平成27年4月1日以降に寄附をした分のみ場合は、申告特例申請書を寄附した地方公共団体に提出すれば、確定申告することなく、控除を受けることができます（ワンストップ特例制度）。

※ワンストップ特例制度の対象となるには条件がありますので、詳しくは、住所地を所轄する税務署、または住所地の市区町村にお問い合わせください。

お礼を差し上げます(平成27年9月1日よりお礼の品の変更がありました)

ふるさと納税（寄附）をされた方に対し、心ばかりのお礼として当市の特産品を進呈しています。1回1万円以上ふるさと納税（寄附）をされた方が対象となります。

寄附金額に応じて、好きな特産品をお選びいただけます。1万円以上3万円未満の寄附で8種類、3万円以上の寄附で9種類の中から選択できる仕組みとなります。

※詳しくはさいたま市ホームページ内「さいたま市『ふるさと応援』寄附のお礼の品を紹介します」のページをご覧ください。

お問い合わせ先

さいたま市市民局市民生活部市民協働推進課

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町11-1 コムナーレ9階
TEL 048-813-6403 FAX 048-887-0164
E-MAIL kyodo-suishin@city.saitama.lg.jp



このパンフレットは4,000部作成し、1部当たりの印刷経費は、2.2円です。

発行日：平成27年11月1日